

# 令和元年度 学校評価（教職員アンケート）集計結果

回収率 100%

	内容	評定0 (0・19%)	評定1 (20・44%)	評定2 (45・64%)	評定3 (65・85%)	評定4 (86・100%)	未記入
<b>教育・経営重点</b>							
1	教育実践をベースとしたカリキュラムマネジメント確立	全く方向性が見えない 0人	一部取り組んでいるに過ぎない 3人(9%)	学校全体で意識をもって、取り組んでいる 22人(68%)	学校全体で取り組み、確立されてきた 5人(15%)	学校全体で取り組み、確立された 0人	2人
2	指導・支援におけるHKS（図書館高等支援学校）スタンダードの確立	全く方向性が見えない 0人	一部取り組んでいるに過ぎない 8人(25%)	学校全体で意識をもって、取り組んでいる 20人(62%)	HKSスタンダードが確立し、全職員で共有している 4人(12%)	HKSスタンダードが確立し、全職員で実践している 0人	0人
3	教職員の確かな専門性に基づき協働意識を高めるチーム学校の向上	全く向上していない 0人	一部取り組んでいるに過ぎない 3人(9%)	チーム学校とし意識をもって、取り組んでいる 20人(62%)	各自が専門性を高め、習慣化されつつある 7人(21%)	各自が専門性をもち、チーム学校が向上した 1人(3%)	1人
<b>指導の重点</b>							
1	基本的な生活習慣・行動様式と学習規律の意味付け・価値付けと習慣化	全く取り組んでいない 0人	一部取り組んでいるに過ぎない 2人(6%)	HRや学科単位で取り組んでいる 23人(71%)	学校全体で取り組み、習慣化されつつある 7人(21%)	学校全体で取り組み、確立された 0人	0人
2	自己のよさに気付く、自己の在り方・生き方を考える場面の意識的設定	全く取り組んでいない 0人	一部取り組んでいるに過ぎない 2人(6%)	HRや学科単位で取り組んでいる 19人(59%)	学校全体で取り組み、意識的設定ができていく 8人(25%)	学校全体で取り組み、各役達の意味付け、関与ができていく 2人(6%)	1人
3	主体的・対話的で深い学びの充実を図る授業改善	全く取り組んでいない 0人	一部取り組んでいるに過ぎない 4人(12%)	校内研究を通して、主体的・対話的で深い学びの授業を目指している 14人(43%)	授業研究を通して、主体的・対話的で深い学びの充実に向けた授業改善を行っている 12人(37%)	主体的・対話的で深い学びの授業が確立された 1人(3%)	1人
<b>経営の重点</b>							
1	個々の専門性を生かし、各部門のスムーズな連携による効率的・効果的な業務の推進	全く方向性が見えない 0人	一部取り組んでいるに過ぎない 3人(9%)	学校全体で意識をもって、取り組んでいる 19人(59%)	学校全体で具体的な対応のもと、取り組んでいる 9人(28%)	学校全体で取り組み、効率的・効果的に業務を推進している 0人	1人
2	保護者、地域、関係機関との連携推進と信頼関係の構築	全く構築されていない 0人	各機関と連携を図っている 10人(31%)	各機関と連携し、信頼関係を築いている 15人(46%)	各機関と連携し、信頼関係の構築ができた 6人(18%)	各機関との連携、信頼関係の構築を学校全体で共有している 0人	1人
3	公務員としての自覚と指名に基づく、法令遵守の徹底と危機管理意識の向上	全く意識がもてていない 0人	一部取り組んでいるに過ぎない 2人(6%)	学校全体で意識をもって、取り組んでいる 9人(28%)	研修や注意喚起を行うなど、学校全体で意識の向上ができていく 17人(53%)	法令遵守が全くなかった危機管理意識が向上した 4人(12%)	0人
4	適切な予算執行と財産処理の管理	全く取り組んでいない 0人	一部取り組んでいるに過ぎない 3人(9%)	学校全体で意識をもって、取り組んでいる 15人(46%)	学校全体で取り組み、情報も共有している 11人(34%)	次年度以降の見直しも共有している 3人(9%)	0人
<b>教育方針</b>							
1	多様な学びに答える合理的価値の実現	全く取り組んでいない 0人	一部取り組んでいるに過ぎない 4人(12%)	学校全体で意識をもって取り組んでいる 18人(56%)	学校全体で取り組み、個に応じた合理的価値が実現しつつある 9人(28%)	実現している 0人	1人
2	生涯学習を展望する、学校で完結しない教育活動の推進	図書館マラソンのみである 1人(3%)	各教科等で実施している 8人(25%)	各教科等、学科、分掌で実施している 17人(53%)	各教科等、学科、分掌で実施したことを実現しつつある 4人(12%)	各取り組みの意味付け、関与ができていく 1人(3%)	1人
3	キャリア発達観の観点からキャリア支援・指導の充実	全く取り組んでいない 0人	職業や作業学習のみで取り組んでいる 1人(3%)	教育活動全体で意識をもって取り組んでいる 23人(71%)	各教科の意味付け、関与ができていく 7人(21%)	キャリア教育全体が幅広く反映できている 0人	1人
4	指導・支援の個別化・個性化と集団化の最適化	全く取り組んでいない 0人	HRのみで取り組んでいる 0人	各教科等、学科で取り組んでいる 23人(71%)	授業研究等を通して、検証している 7人(21%)	学校全体で取り組み、情報を共有している 1人(3%)	1人
5	地域環境・人材の活用を図る教育の推進	全く取り組んでいない 0人	一部取り組んでいるに過ぎない 3人(9%)	各教科等、学科、分掌単位等で積極的に取り組んでいる 21人(65%)	各教科等、学科、分掌単位等の取り組みが共有あつた 6人(18%)	学校全体で取り組み、教育の充実が図られた 1人	1人
6	指導の基本姿勢「ジェントル・ティーチング」	全く取り組んでいない 0人	一部取り組んでいるに過ぎない 1人(3%)	学校全体で意識をもって取り組んでいる 23人(71%)	学校単位で取り組み、基本姿勢が確立されつつある 6人(18%)	学校全体で取り組み、基本姿勢が徹底されている 1人(3%)	1人
<b>経営方針</b>							
1	経営資源である人・物・予算・情報・時間の有効活用	全く取り組んでいない 0人	有効活用できるものを洗い出している 8人(25%)	有効活用する具体的な対応を講じている 17人(53%)	具体的な対応のもと、実際に活用を始めている 5人(15%)	学校全体で取り組み、全経営資源を有効活用できている 2人(6%)	0人
2	コミュニティースクールの視点による、安心・安全な信頼される学校作り	全く取り組んでいない 0人	生徒が安心・安全な学校になっている 7人(21%)	生徒・保護者にとって安心・安全な学校になっている 22人(68%)	生徒、保護者にとって安心・安全な信頼される学校になっている 2人(6%)	生徒・保護者・地域にとって、安心・安全な信頼される学校になっている 0人	1人
3	教職員の資源及び専門性の向上と法令遵守の徹底	全く意識できていない 0人	個人で教科研や研修を行うなど、専門性の向上を図っている 5人(15%)	各教科等、学校単位などで教科研や研修を行い、専門性の向上を図っている 18人(56%)	各教科等、学校単位などで教科研や研修を行うなど、学び合いを行っている 4人(12%)	学校全体で研修を行うなど、学び合いを行っている 4人(12%)	1人
4	道南地区における特別支援教育のセンター的機能の発揮	全く発揮されていない 0人	PT、教育相談のみ取り組んでいる 9人(28%)	迎養学校（小中高）を对象とした事業に取り組む、役割を果たしている 14人(43%)	迎養学校、地域の方を对象とした事業に取り組む、役割を果たしている 6人(18%)	迎養学校、地域、企業の方を对象にした事業に取り組む、役割を果たしている 2人(6%)	1人
5	学校予算の効率的・効果的に適正な執行	全く取り組んでいない 0人	一部取り組んでいるに過ぎない 3人(9%)	学校全体で意識をもって、取り組んでいる 18人(56%)	学校全体で取り組み、情報共有しながら、適正に執行している 7人(21%)	次年度以降の見直しも共有している 4人(12%)	0人
6	学校に対する働き方改革の推進	全く取り組んでいない 2人	一部取り組んでいるに過ぎない 5人(15%)	学校全体で意識をもって、取り組んでいる 17人(53%)	学校全体で取り組み、具体的な対応ができていく 6人(18%)	全職員の合意形成のもと、実現できている 1人(3%)	1人